

東寺百合文書「世界記憶遺産」登録記念 東寺領荘園と地域社会の現在・未来

昨年10月、京都東寺の百合文書(ひゃくごうもんじょ)がユネスコの世界記憶遺産(世界の記憶)に登録されました。百合文書は古代末から中世にかけて、日本各地で営まれた東寺の荘園の様子を克明に描いています。かつて荘園があった地域では東寺との縁(えにし)を大事にし、地域の文化・歴史遺産を活用したさまざまな取り組みが行われています。愛媛大学考古学研究室も荘園地のうち、弓削(愛媛県越智郡上島町)と新見(岡山県新見市)で地域の方々とともに歴史遺産の活用に取り組んでいます。

今回、百合文書の記憶遺産登録を機に、今一度、東寺との縁を活かした地域の活動と将来について考えてみたいと思います。

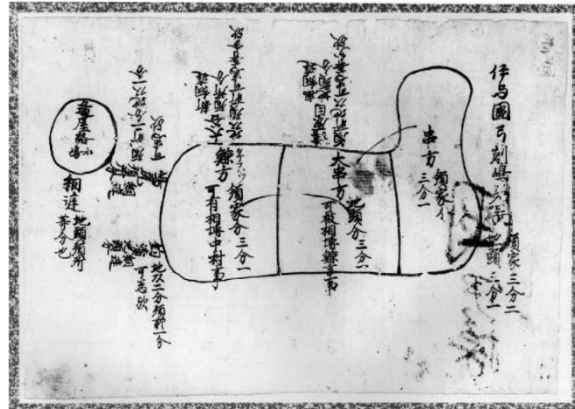
- 日時 2016年2月13日(土)
受付開始12時、13時~16時30分
会場 愛媛大学共通教育講義棟35番教室
(愛媛大学城北キャンパス)
- 内容:
- ・東寺砂原秀遍長者との対話(映像)
 - ・東寺百合文書と瀬戸内海一弓削荘を中心に一山内 譲(松山大学)
 - ・東寺荘園サミットと上島町弓削島での活動
村上律子(NPO弓削の荘)
 - ・「たたら」がつなぐ東寺と新見
藤井 勲(備中国新見荘たたら伝承会)
 - ・愛媛大学考古学研究室と弓削荘・新見荘
中野真衣(愛媛大学4回生)・品川 愛(同2回生)

ほか

地域にも記憶が刻まれている



東寺



弓削嶋荘地頭・領分相分差図



中世たたらへの復活(新見市)



下弓削鎌田に復活した揚浜式塩田

入場無料

- ・事前のお申し込みは必要ありません。
- ・お問合せ先:

790-8577 松山市文京町3

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

メールアドレス: kotetsuAIC@gmail.com